

「いざという時」に対処出来るか？がとっても大切になります。訓練は「そのいざという時」にきちんと対処することが出来るためにします。今日の御言葉では、「ルカ6:40 弟子は師以上には出られません。しかし十分訓練を受けた者はみな、自分の師ぐらいにはなるのです。」という所に向かわせています。十分に訓練を受けることが出来るならば、イエス様のようになる事が出来ます。誰でもイエス様のようになれる事を語られています。私たちは目が見えるようになるために、梁を取り除かないといけません。梁を取り除き相手を裁かないで、憐れみ深くなるように教えています。「ルカ 6:47 - 49 わたしのもとに来て、わたしのことばを聞き、それを行なう人たちがどんな人に似ているか、あなたがたに示しましょう。その人は、地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を据えて、それから家を建てた人に似ています。洪水になり、川の水がその家に押し寄せたときも、しっかり建てられていたから、びくともしませんでした。聞いても実行しない人は、土台なしで地面に家を建てた人に似ています。川の水が押し寄せると、家は一ぺんに倒れてしまい、そのこわれ方はひどいものとなりました。」賢い人は、自分の愚かさを知って、赦す思いを持っている人で、先の事を十分に知っている人です。岩の上に家を立てる人は、平凡で満足せず将来を思い、苦しまないために神様の言葉に耳を傾けます。せっかく教会に来てメッセージを聞いて、岩の上に家を建てたのに、メッセージを忘れてしまい砂の上に移動していませんか？メッセージではその1週間の中で必要なことが語られています。週の始め最初のほうは努力しますが、週半ばに忘れてしまっているのは、砂の上に移動してしまうような事になります。私たちが冷静でいつも揺るがないために、教会に来てメッセージを聞きます。また、つまづかないようにしないとといけません。その為に神様の声を聞き続けないとといけません。たとえ倒れそうでも、神様は私たちを守ってくだり支えて下さいます。神様に信頼して神様と共に歩むことが出来るなら、どんなに苦しい中も乗り越えることが出来ます。

1、訓練は何のためか？ヘブル12：11～14

正しく乗り越える為に訓練はあります。感情的（怒り、恐れ、不安など）にならない為に冷静にならないといけません。その為にどのようにすべきかを神様は教えて下さっています。私たちはきちんと立ち上がり、神様の思いをきちんと理解していかなくてはなりません。だから神様と共にまっすぐ進む必要があります。

2、目的を見失うな

目的を知って行っていますか？私たちは「今」していることを説明する事は難しいと思います。でもイエス様は目的を持って行動されました。最初のイエス様の奇跡は、カナという所でのブドウ酒の奇跡です。イスラエルなどの地域ではブドウとうい物がとっても大切になります。水がなくなる乾季の時の飲み物になるからです。ワインは発酵させて作ります。発酵させることによって、悪い菌を殺し保存がきくものになります。その人々の生活にとって大切な物がなくなるという時に、イエス様は水をワインに変えるという奇跡を行われました。その大切で必要なものを与えるという奇跡を通して希望を与えられました。私たちはどのように進むかを理解して、目的と希望を持って進んでいかないといけません。イエス様の姿を思い起こして、イエス様のように進んでいきましょう。

3、ピンチこそ実践！！将来を壊さぬために！！

クリスチャンであっても、ピンチの時に実践できないとダメになります。私たちは壊してしまう事が沢山あります。でも悔い改めて、神様の声に聞き従うことが出来るなら、奇跡は起こります。神様が共にいて下さるからです。今まで沢山教会でメッセージを聞いていると思います。その聞いたことを大切にして実践していきましょう。「ヘブル 12:11 すべての懲らしめは、そのときは喜ばしいものではなく、かえって悲しく思われるものですが、後になると、これによって訓練された人々に平安な義の実を結ばせます。」辛いことがあるかもしれませんが、必ず神様は解決を与えて下さって、素晴らしい実を結ぶことが出来ます。いつも神様の声を聞いて従っていきましょう。（要約者：渡辺 将宏）